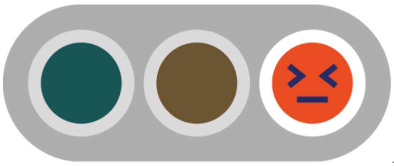
赤信号の話

ファン・ウェン・ビン
教育学部　交換留学生　ベトナム



赤信号といえば、皆さんが嫌なイメージを持っているでしょう。これから私は「赤信号」を「赤子ちゃん」と呼びます。「赤子ちゃん嫌いだなぁ」と思ったことがありませんか。赤子ちゃんは交通の安全を確保しているのに、なぜ皆さんは赤子ちゃんが嫌いなのですか。それはいろいろな理由があると思いますが、一番大きな理由は赤信号が私たちの時間を無駄にするからだと思います。急いでいるのに、赤子ちゃんに会ったら、絶対遅刻するでしょう。だから好きなわけがないですね。私もそう思いました。

日本に来る前、私は赤子ちゃんがとても嫌いだったんです。毎日赤子ちゃんに会わないようにお祈りをするほど嫌でした。しかし、和歌山に来てから、いつの間にか、赤子ちゃんが好きになりました。なぜかというと、赤子ちゃんは全く知らない新しい環境に住んでいる私の味方になってくれるからです。日本の交通費は結構高いので、当然のことながら、自転車が私の主な交通手段になったのです。ご存知のようにベトナムはバイクの多い国と知られています。ベトナムにいるとき、私はいつもバイクを使って、自転車はぜんぜん使いませんでした。ですから、私の自転車を漕ぐスピードは他の留学生より遅いです。それに、私は背が高くないので、この短い足で全力で漕いでも、いつも皆の一番後ろになってしまいます。そして、私は道がよくわからないので、迷子になる可能性が非常に高いです。だから、いつも不安な気持で一生懸命前の子を追いかけます。こんな時に、赤子ちゃんは私の心の声が聞こえるみたいで、出てきました。一緒に行く友達はよく「また赤子ちゃが出てきた。いやだなぁ！！」と言いながら、自転車を止めました。そのおかげで、私は皆に追いつきました。「赤子ちゃんありがとう！」って毎回私は思いました。また、ある寒い日に、私は赤子ちゃんを待っている時、交通ボランティアのおじいさんとおばあさんが私ににっこりしながら、「おはようございます」と声かけてくれました。普通の挨拶ですが、その瞬間に、私の心をあためてくれました。これらの事件をきっかけに、私は赤子ちゃんに対しての考え方は変わりました。

それは私が赤子ちゃんが好きになる理由の中のひとつです。もう一つの理由は赤子ちゃんを待っているとき、私は時間がゆっくり進んでいるように感じます。実は、日本にいるとどうも忙しいような気がしてなりません。日本人はなぜそこまでして急ぐのでしょう

か？特に都市部では毎日が速いスピードで流れていきます。だから、赤子ちゃんを待って

いない人もいると思います。しかし、ちょっとゆっくり止まって、周りを見てみてください。赤子ちゃんを待っていることによって、いろいろなことに気づきますよ。赤子ちゃんは「ね、そんなに急がないで、周りを見てて、今日は桜満開になったよ、小学生の子供たちが笑いながら、学校に行っている姿は可愛いよね！」とよく私たちに伝えていますよ。だから、皆さん、赤子ちゃんとともだちになってみてください。赤子ちゃんを待って、一度スピードを落とし、見えていなかったことに気づきましょう。スピードを落とすことで、早すぎるがゆえに見えなかったことが、ようやく見えてくるのです。

イラストの出典：
http://illust-hp.com/img/singou12.png